



日本サッカーの理解者、サッカーファミリーを増やしたい 公認C級、D級コーチ養成講習会カリキュラム改訂

JFA指導者養成ダイレクター 眞藤 邦彦 (広島文教女子大学)

このコーナーでは、日本サッカー協会(JFA)が取り組んでいる各種事業をテーマに、その事業の中心人物が登場して活動内容や将来構想、日本サッカーを取り巻く環境、世界的な動向などについて語ります。
第20回は、JFA指導者養成ダイレクターの眞藤邦彦氏です。

今年度、公認C級およびD級コーチ養成講習会のカリキュラムをブラッシュアップしました。それに伴い、同講習会の教材である「サッカー指導教本」も改訂しました。

カリキュラムに関しては従来、4年に一度の見直しを図ってきました。昨年がその年でしたが、「JFA2005年宣言」の約束を果たすために、指導者養成をどのように考えていかなければいけないのか」というところに立ち返って慎重に議論を重ねたため、時間を要してしまいました。C級、D級だけに焦点を当てるのではなく、S級からキッズリーダに至るまで指導者養成事業の全体を捉え、各ライセンスの養成目標に沿って内容を精査しました。

私たちの大きな目標は、「日本サッカーのレベルアップ」「日本サッカーの確立」「選手のレベルアップ」です。現状を維持するのではなく、さらに良くしていくことが大切です。ですから、現場の声に耳を傾けたり、あるいは見識者の話を聞く、またわれわれの中でもディスカッションを進めて、「今後、育成年代の指導者になるようになってほしいか」といったことや「指導者養成の在り方」を考えた上で分析していきました。

JFAの指導者養成事業は、テニスマール・クラマーさんをはじめ日

本サッカーに対して情熱を注いでくださった方々の「尽力があつて発展してきました。その方々の“心”を大事にしながら、さらに良くしていきたい」という気持ちも込めて、「改善」というテーマを掲げました。

「改善」するに当たって4つの柱を立てました。「ライセンス講習会」の内容改善はもちろん、「ライセンスを超えたサポート」として、リフレックス研修会の内容や指導実践型研修などの環境を整備すること。また、「指導者を取り巻く社会環境」に目を向けて、ライフスタイルに合った学習環境の整備などに取り組んでいきます。さらに、指導者養成の現状把握とモニタリングを進めながら、諸外国のリサーチを行う「リサーチと発展」にも力を注いでいきます。これらを軸に総合的な見直しを図りました。

C級、D級講習会の教材は、これまで「サッカー指導教本」の1冊にまとめられていましたが、それぞれの養成目標に照らし合わせるために分けました。

C級はサッカー、指導者の入門編であると同時に、選手としての土台が築かれるゴールデンエイジの重要な年代を指導し、上の年代へ積み上げていく目標があります。一方でD級は、例えば保護者など一時的に指導に関わる人を対象としたもので、サッカー選手として大成するため

に大切な「自立」を促す働き掛けなど、基本的な指導者としての在り方について記してあります。サッカー経験者でなくてもサッカー指導の考え方に触れていただき、日本サッカーの理解者、ファミリーを増やしていくことが目的です。「サッカーって面白い」と感じてもらえるような構成になっています。

どちらのライセンスも「ゴールを奪う」「ゴールを守る」「ボールを奪う」というサッカーの原理原則は変わりません。「サッカーとはこういうもの」というイメージが伝わりやすい映像も用意しています。実践講習では、子どもたちが「サッカーが楽しい」と思えるようなシンプルな内容で、かつトレーニングをしていく上で気付きが得られる、受講者にとっても「こうやってトレーニングをすればうまくいくんだ」と気付いてもらえる、その判断材料になるものを盛り込んで「サッカー理解」につなげていきます。また、楽しいサッカーを追求するには、テクニクを磨くことが大事であることから、テクニクを教えるポイントも強調しています。「全体は部分の総和以上」という言葉があるように、サッカー全体をイメージした中で部分必要要素テクニク、判断、コミュニケーション、フィットネスを磨いていき、うまくつなぎ合わせて総和以上のものにしていく。全体と部分をバラ

ンスよくアプローチしています。資格を取得したらそれで終わりではありません。「もっと良い指導がしたい」「子どもたちにどのように接し、教えていったら良いのか」というような向上心を持ってもらえるような雰囲気づくりを心掛けて、理想の指導者を目指すきっかけになればと願っています。

講習会では、受講者の皆さんにサッカーの魅力を体感していただくことを第一に考え、その楽しさや子どもたちに伝える喜びを感じていただきたいと思えます。受講後も指導現場でトライ＆エラーを繰り返して、より良いものにしていくだけできれば幸いです。また、日本サッカーをどのように発展させていきたいかという方向性にも触れています。フェアで強いチームを目指すこと、リスベクトの考え方、子どもたち自身が自分で判断して実行し、成功や失敗を経験する中でサッカーの楽しさを理解していく。そして人としても成長していく。そういった理解者を増やしていきたいと思っています。

「サッカー指導教本・DVD 2012 JFA C級コーチ」「サッカー指導教本・DVD 2012 JFA D級コーチ」購入をご希望の方は、本誌32~33ページをご参照ください。なお、本商品はJFA公認指導者資格保有者限定の販売となります。

「サッカー指導教本・DVD 2012 JFA C級コーチ」「サッカー指導教本・DVD 2012 JFA D級コーチ」購入をご希望の方は、本誌32~33ページをご参照ください。なお、本商品はJFA公認指導者資格保有者限定の販売となります。